



「これだけは負けない!」

松尾まよか今期の実績

政策立案



外資系企業でのコンサルティング経験も活かし、日高市全体の長期的な政策を、皆さんと一緒に考えてきました。

今期の公約 議会で取り上げた主なテーマ

子育て	教育改革／コミュニティスクール／里親／学校給食／産前産後ケア／流産など赤ちゃんの喪失のケア
健康	健幸のまち宣言／人工香料の害／市民の移動手段の確保／電磁波対策／子どものマスク着用
自然	メガソーラー問題／山林所有者の支援／マイクロプラスチック／気候変動／オーガニックビレッジ
地域活性	移住定住／空き家／デジタル推進／市民協働／ボランティア支援／学校の跡地活用／農業振興

市民活動

たくさんのボランティア活動の立ち上げに関わり、皆さんに一番身近な議員として走ってきました。



フットワーク

市内どこでも、どなたでも、どんなご相談でもすぐに駆けつけ、直接お会いし、一緒に考え動いてきました。



情報発信

皆さんに届くよう、報告会、紙面、動画、SNS、メールなどあらゆる媒体で日高市の今を伝え続けてきました。



松尾万葉香プロフィール

経歴

- 昭和 57 年 大分市に生まれる
- 横須賀市・米国・松戸市・横浜市・東京都内に育つ
- 私立女子学院高校卒業
- 早稲田大学 教育学部 理学科卒業
- 日本 IBM(株)にて、リーダー人材育成や組織変革コンサルティングに従事
- 3.11 を機に退職後、医療を学び健康指導を行う
- 柔道整復師、アールヴェーダセラピスト、地唄箏曲美緒野会 講師
- 2019年日高市議会議員選挙に初当選

議員連盟

子育て議員連盟、出産議員ネットワーク 生物多様性・生態系を考える議員の会

市民活動

高麗本郷メガソーラー問題を考える会、日高の学校給食を考える会、ソクラテスの会、ひだかん実行委員会、地域おたすけ隊、スングマ-最後の清流に学ぶ会、(一社)日本伝統文化の会 監事、元(公社)飯能青年会議所 委員



城西大学現代政策学部にて講義。通算 400 人超が受講。議員インターン生 8 人を受け入れ。

家族

夫と息子(6歳)

ご意見、ご相談、お気軽にお寄せください



080-4449-7858 日高市横手435
mayoka.matsuo@gmail.com

松尾まよか議員を応援しています



横手／加藤伸二 後援会会長・元小学校長
松尾まよかの魅力は、人柄と熱意です。本当に豊かなまちづくりを共に進めましょう。



高萩／古澤聡子 後援会 事務局
まよかさんと出会い、市議会を初めて身近に感じました。頑張れまよか!!



横手／関口政義 元横手区長
松尾さんはこれからの日高をしょって立つ人です。皆さんと応援していきたいです。



日高市議会 無所属 しがらみ一切なし!

松尾まよか

みんなで作ろう! 日高の未来!

日高をありきたりなまちだと思いませんか?
いいえ! 日高は他にはない個性と魅力にあふれています!!

日本全体の停滞、人口減少・財源不足により、心ある皆さんの頑張りが、なかなか未来への活力に繋がらない、そんな閉塞感をお感じになっている方も少なくないのではないでしょうか。

今、社会のために何ができるのか…私の見出した答えは、「**地域から変える!**」でした。日高には、日高だからこそできる、豊かなまちづくりがあります。

議員として4年間、いかなる政党や団体の応援を受けず、**立場を越えて、皆さんと一緒に考えてきました。**世界に誇れる「**これからの持続可能で豊かな地域社会のモデル**」を、皆さんの手で、この日高で実現しませんか?



このままでいいの?
私たちの未来のため、声をあげませんか?

日高を世界一「本当に」豊かなまちに!



松尾まよか後援会

ご支援方法は 3 種類

- 1 活動で応援 ~お手伝いをお願いします!~
- 2 寄付で応援 ~一口1,000円~
- 3 気持ちで応援 ~通信などが届きます!~

ご入会はこちら 090-3139-1604 (古澤)
mayoka.kouen@gmail.com



今、皆さんと考えたい!

このままでと
どうなる日高?



市民 日高に住む魅力が...

お出かけできない!
高齢者(交通弱者)の孤立

買い物難民が続発
医療費の増加
単身世帯の困窮



他市が羨ましい!
子育て世代の流出

子どもの遊び場の不足
教育改革の遅れ
子育て支援サービスの減衰

もの哀しい風景...
生活環境の悪化

店舗の減少
放置される空き家や農地
山林の乱開発、豪雨で土砂流出

市政 従来型政策を継続

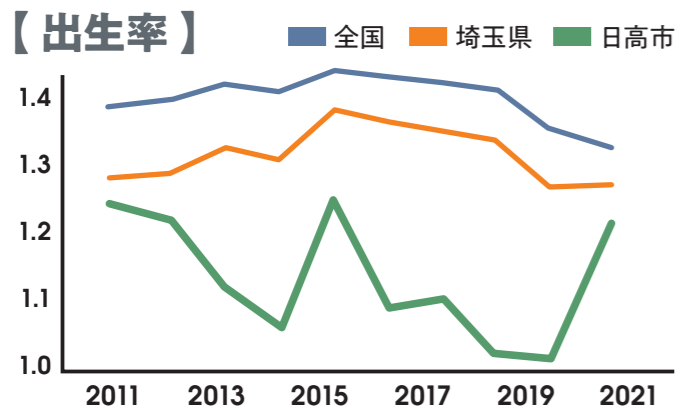
人員・財源不足のなか、住民の要望に対応しながら目の前の節約を重ねざるを得ず、長期視点で市のためになることをやりたくてもできないジレンマがつのる。

議会 問われる存在意義

議員間のあつれきに時間をとられ、未来に向けた建設的な議論や、行政への本質的な提案がなかなかできない。市民の期待も失われ、投票率は低下の一途。

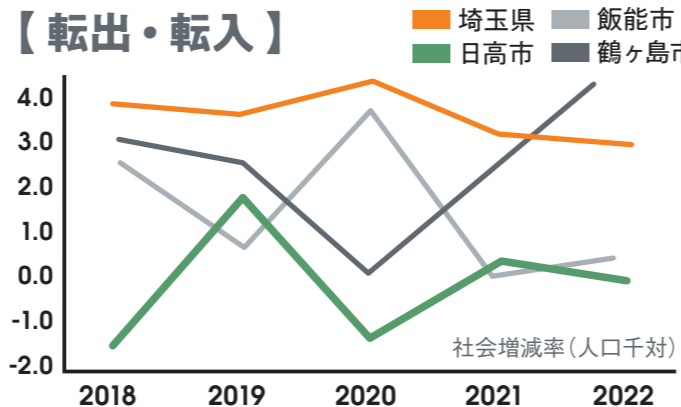
日高の現状

日高市の人口は2012年より減少に転じました。将来にわたり市の財源を確保していく努力が必要です。



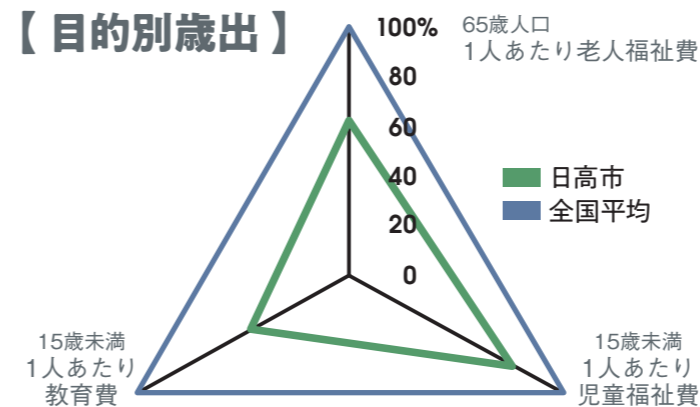
過去10年、ほぼ1.1前後で推移しており、全国・県の平均を大きく下回っています。

日高市提供データより作成



転出者数と転入者数がほぼ同数で、近隣同規模市と比較しても高いとは言えません。

【統計からみた埼玉県市町村のすがた】より作成



一人あたりにかけられている様々な費用が、全国平均より低くなっています。

RESUS 人口あたり水準の比較(2020)より作成

「本当に」豊かなまちへ!

市民をもっと! of the people

市民が主役のまちづくりを!

誰一人取り残さない、活気あふれる持続可能な地域をつくるには、市民、事業者、行政などあらゆる立場の人々が力を合わせる必要があります。私たち一人ひとりが声をあげ、つながり、学び、動き、助け合える、そんな豊かな暮らしへ。市民主体のまちづくりを進めましょう。



市政をもっと!

市民のあたりまえをあたりまえに! by the people

そのために行政は、市民とともに考え、協働のまちづくりを進める場へと変わる必要があります。財政の将来見通し、投資対効果の見極め、形骸化した仕組みの見直し...、そんな市民感覚ではあたりまえの仕事の進め方を、行政も始めなくてはなりません。



議会をもっと!

ワンチームでの議会改革を! for the people

市政を変えるのは議会の役割です。市民の声を聴き、知見を持ち寄り議論を重ね、議会全体として(*)行政に働きかけるといった、議会本来の働きがしっかりとできるよう議会改革を進めましょう。



※国会は、政権を持つ与党に対するのが野党の役割ですが、地方議会は「二元代表制」であり、与野党の別はなく、執行権を持つ市長に対し議会全体として監視機能を果たします。

ここから始める! >>日高は今!

1 子育て

大人の都合よりも、**子どもが子どもらしくいられる環境・教育を!**



>>子どもの権利を保障し、子どもを管理し適応させずとも、その子がありのままに才能を伸ばせるよう、遊び場・保育・教育の見直しが必要です。

2 健康

病気になってから治すよりも、**いつまでも元気な心と体を養う地域づくりを!**



>>老若男女、車がなくてもお出かけし、地域社会に参加できることが、「健幸のまち」の土台です。



3 自然

「仕方ない」で開発するよりも、**ありのままの自然の恩恵を!**



>>山林の土地所有者に寄り添う支援をし、森林資源の活用・保全につなげる制度が必要です。

4 地域活性

財源不足と諦めるよりも、**人とお金が集まる仕掛けを!**



>>駅周辺の賑わい創出、まちづくりプレイヤーを中心に移住者が増える場づくりから始めましょう。

5 市政

行政がやってくれるを待つよりも、**住みよいまちは私達がつくろう!**



>>市民提案型の官民協働事業を制度化しましょう。公共の会議室は無料で使えるようにすべきです。

6 議会

先例の踏襲よりも、**未来を語る開かれた議会へ!**



>>市民参加の公聴会を開き、議員間で議論し、市政への提案につなげる議会にしていきたい!